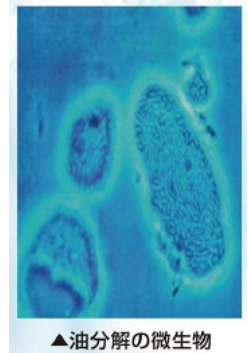
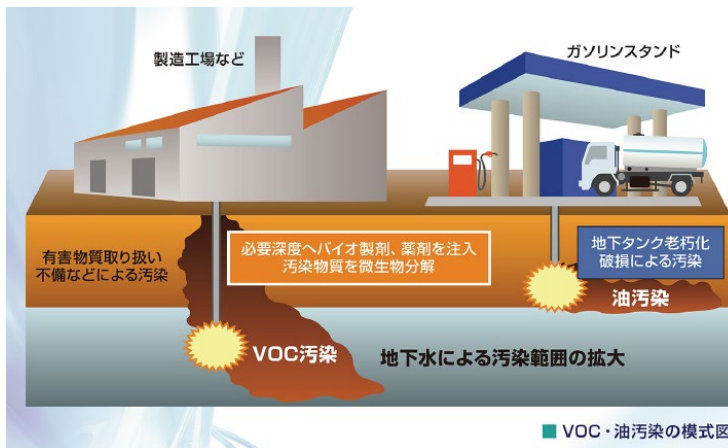


微生物による土壌浄化

どんな時に

安価に浄化した時、土を運び出したくない時、作業しながら浄化したい時、土壌と地下水を同時に浄化したい時、使用するエネルギーを最小にして脱炭素化社会を目指したい時、微生物の力を借りて浄化します。

技術のポイント

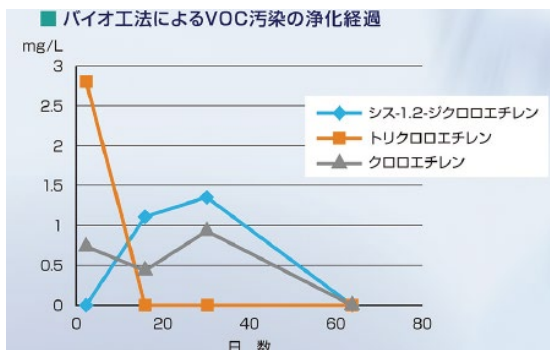


塩素系の揮発性有機化合物(VOC)は、地中の微生物に栄養剤を与えて分解してもらいます。油やベンゼンは、自然の微生物を集めたもので分解してもらいます。

コストメリット

バイオ工法 1～3万円/立米
VS
掘削場外処分 4～8万円/立米

施工条件によって、費用は異なります。



汚染土を掘削し場外に持ち出すよりも時間が掛かりますが、継続して分解するため、リバウンドや浄化残りが少ない方法です。

- ・土壌汚染対策法に基づく浄化工事で採用しています。
- ・ボーリングによって浄化確認をします。